

地震・津波で家屋が変形しても脱出可能なドアを開発！

会社名 よね川アルミ
 所在地 徳島県勝浦郡勝浦町生名字野口28-1
 従業員 2名
 資本金 -
 売上高 2,500万円(2020年度)
 業種 アルミ、ステンレス加工、特殊機械設計、建築金物製作



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 事業戦略、事業計画が明確になっている。
- 開発が完了し製造、販売を開始。事業を継続していける見通しをたてる。
- 本開発品の認知度が向上する。
- 知財戦略が明確となり、知財強化が進み、他社特許情報が理解されている。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 事業戦略、知財戦略を簡素化・明確化させ、知財情報を活用しつつ商品価値を根本から見直しを実施。保有の経営資源の延長線上に新規のドア技術を加えて心機一転の事業体制を構築した。
- 地震・津波で家屋に変形が起きても脱出可能なドアユニット2種類の開発を完了。リフォームにも対応可能で、念願だった安全・安心を届けることができるようになった。

今後の事業展開の展望

Future

- 検討対象製品に関する出願(特許、意匠、商標)を終え、対震ドア製品の販売拡大を目指す。そのための戦略や戦術も整理できている。
- 特殊丁番を開発したことで、建物金具市場にアプローチしやすくなった(リフォーム市場や、ライセンス事業への発展含む)。推進体制として会社規模を補完するような、小規模事業者連携、職人連携を目指していく。そのための媒介としてホームページを作成、整備した。

重点支援を受けた事業や商材



【出典】よねかわアルミ提供資料より

経営者はサッシ施工技能士であり、アルミサッシのオーダーメイドを中心に製品の設計、加工、施工の数多くの施工実績を持つ。

大規模な震災時に玄関戸の開口部に変形が起きたとき戸の開閉ができない課題を認識し、その解決を図るべき独自の玄関戸の機構を発案し製品化を実現。機構全体本格販売を目指すも、商品販売の経験やノウハウがなく重点支援を機に事業を加速化させていくことを企図していた。

本支援を通じて、技術の本質的な長が「丁番」にあることを特定し、そこに絞り込んだ事業戦略等各種戦略の検討・具体化を行った。

重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業計画が未整備	事業ドメイン、事業コンセプトを確認した方が良い。事業転換および拡充を計画に落とし込む必要がある。数量や販売地域等が事業進捗に応じて変わると思われ、中期的な視点も入れて計画化が必要。
事業化を見据えた準備に遅延あり	構造の簡略化やドア枠に機能を持たせた技術の開発も行い得るような開発力を備えていく必要がある。
知財強化のための戦略がない	特許、意匠の出願は済ませているが、構造の簡略化開発、回避構造、まだ知財化されていないアイデア、玄関ドア以外への展開可能性などを検証して権利強化が必要。関連技術の他社特許情報を調査すべき。ネーミング検討とそれに伴う商標出願検討も必要。
販路拡大戦略が未整備	ターゲット顧客を優先付けするほか、販路拡大のための具体的な戦略がまだ固まっていない。パートナー戦略も必要。



重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業戦略・事業計画が明確になった (当初計画より大胆な方向修正を実施)	<ul style="list-style-type: none"> リンク機構を持つ対震ドアユニットの開発に続いて、買手の目線を加えて、普及に向けての課題(効果とコストの壁、チャンネル上の課題、参入の難しさ)を整理し、商品性を高める方向での追加開発を実施 最終的に、家屋の傾きが発生しても開放できる「特殊丁番」の開発を完了でき、施工では簡単な枠材を加えるだけとした。これにより、商品性のみならず事業の管理性が高まり、事業継続性も確保できるようになった 	中小企業診断士 ウェブデザイナー
事業化を見据えての準備支援	<ul style="list-style-type: none"> 法的対応、評価試験は自社で確認。製品仕様も準備でき対震ドアユニット及び対震ドア用特殊丁番の投入準備は整った 	中小企業診断士 弁理士
事業目的に連動した知財戦略を実践	<ul style="list-style-type: none"> 新規開発の丁番と、派生して開発した施工に必要な計測具(コンボックス)に取り付ける付属金具、の特許出願を実施 経営者の知財意識や知財情報処理スキルの向上に寄与 	中小企業診断士 弁理士
販路拡大に向けた販売戦略の明確化	<ul style="list-style-type: none"> 専門家の業界、市場の分析に加え、丁番技術開発を行っている事業者が少ないことを知財情報を通して把握。事業規模も経営者の管理可能な規模での実施に目処をつける リブランディングして、社名を「よね川アルミ」に変更、ホームページと企業ロゴを刷新、即運用 	中小企業診断士 ウェブデザイナー

支援チーム紹介

リーダー専門家: 中小企業診断士・一級建築士 藪田 安之
 活用専門家: 弁理士、ウェブデザイナー
 知財総合支援窓口担当者: 徳島県知財総合支援窓口 井上 修
 PO(プログラムオフィサー): 中 隆廣